所長 山本 の

ワイズリレーインタビュー

第18回 OGA GRAPHICSの代表 オガサワラユウダイさんに聞きました！

イラストからデザインまで、コミュニケーションを形にする何でも屋。

Q まずは、業務内容を教えてください。

オガサワラ　肩書きはグラフィックデザイナーとイラストレーターです。でも名刺には何も書いていなくて、その場に応じて言おうと決めています。仕事内容は、約 20 年間、印刷会社に勤めた経験があるので、名刺やポスター、雑誌、パッケージなどのデザイン全般をやっています。最近はイラストや雑誌の表紙なども担当させてもらっていて、何でも屋さんですね。

Q 創業はいつですか？

オガサワラ　2013 年4月4日です。誕生日が昭和 44 年 4 月 4 日で、44 歳の年に独立しようと、前から決めていました。震災から間もない頃だったので、周りからは心配されましたし、当時高校1年生だった娘には泣かれましたね。ちゃんと誤解は解けましたが、下の子からは「パパ楽そうだね」って言われています（笑）

Q どういうところからの仕事依頼が多いですか？

オガサワラ　前の会社からや、県や市などの官公庁、地元の法人、個人のお客さん、東京の出版会社など、幅広いですね。デザイン以外に自分でグッズを作って売ることもしています。

Q グッズは、どんな商品がありますか？

オガサワラ　ポストカード、カレンダー、手ぬぐい、トートバックなどがあります。「わんこきょうだい」の手ぬぐいを作る時、県にわんこきょうだいの使用申請書を届けに行ったら、職員の人が「作者なのに」って笑っていて。でも、ちゃんと出しました。やはり、わんこきょうだいのグッズが人気ですが、ここはボクのトートバッグと手ぬぐいが一押しです！って言っておかないとですね。絵柄は、自分の絵の原点となった落書きの絵が集まったものです。

Q この絵は全部キャラクターですか？

オガサワラ　14 年くらい前に描いたものです。自分が何を描いたらいいのか分からなくなって、壁にぶつかった時があって。昼休みに、とりあえず子どもの頃に大好きだった落書きを描いてみようと思って描き始めたものです。絵日記みたいなもので日にちも書いてあるし、毎日2、3個描きました。それを1年半くらい続けたら 1,500 枚くらいになって。じゃあ今度はそこに色をつけてみようと思って、今のような絵になりました。それを、

親しみやすくて、お酒を愛するオガサワラさん。飾らない人柄こそが、子どもからお年寄りまで支持されるデザインの理由なのかもしれません。

出版社主催の「第 1 回ポストカードブック大賞」に出してみたら大賞を受賞したんです。

Q そこから道が拓けた感じですか？

オガサワラ　そうですね。自分の方向性はこっちかなと思うようになって、この絵のきっかけは大きいですね。その時、結構切羽詰まっていて、これを1年間続けられなきゃ、自分の絵を描くのはやめようって考えていました。だんだん描いていくうちに、絵がたまっていく達成感や自分の気持ちが整理されていきました。でも、「これはなんですか？」と言われても、その日の気分だし、例えば二日酔いで気持ち悪い時とか、寝不足の時とかもあって、心の叫びみたいなものですね。

Q 小さい頃から絵描きになりたかったのですか？

オガサワラ　中学生くらいにはイラストレーターになりたいって思っていましたね。かといって、教科書に載っているような絵は好きじゃなくて、ふざけた絵とか落書きが大好きでした。どうしたら、その仕事に就けるか考えて、デザインをやればイラストが描けるかなって思って盛岡工業高校デザイン科に進学しました。大学は行っていないので、あとは独学です。自分の名前を売るためにグッズを作って、怪しまれながらも飛び込みでお店に行ったり、自分の個展を開催したりしました。高卒でも何とかなりました。

Monthly Person

OGA GRAPHICS
代表

オガサワラ ユウダイ

岩手県観光PRキャラクター「わんこきょうだい」やNHKいわてみんなのうた「たらりら」のキャラクターを手がけ、自身の誕生日（昭和44年4月4日）にちなみ、44歳の4月4日にグラフィックデザイン事務所を設立。今はバドミントン気分の元ラガーマン。

左は、1年半描き続けた落書きを集めたオリジナルの手ぬぐい。サーカスやカーニバルを見ているような、ワクワクさせてくれる絵です♪

shop+space ひめくり 代表　菊池 美帆 さんからのご紹介

Q セールスポイントを教えてください。

オガサワラ　お酒が好きじゃだめですか？（笑）……強いて言うなら、自分の主観に走ったものは作りたくないので、自分の立ち位置をお客さん側にしていることです。背伸びはしないで、身の丈にあったものを作りたいなって思っています。

Q このお仕事の魅力はどこに感じていますか？

オガサワラ　お客さんと一緒に物を作っていけることが一つですが、サラリーマン時代と違って今は反応がダイレクトに伝わってくることも魅力に感じています。お客さんが喜んでくれるのもそうですし、今度はそれを買ってくれた人たちの反応もダイレクトに聞こえてくるのがとてもいいなと思っています。

Q どういうふうに一緒に作りますか？

オガサワラ　お客さんの要望によります。例えば、クッキーのラベルだけをデザインしてほしいと言われて、ラベルだけじゃ売れないなと感じて、根本から考えた例もあります。クッキーも知り合いのパティシエの人に一緒に考えてもらって、袋などの包材も見直した結果、年間目標 800 個が 3,000 個くらい売れる商品ができました。お菓子の原価計算をして、パッケージにはこのくらいかけられるとか、売価などもお客さんと相談したりもします。「やります」と言って、思いのほかやることがいっぱいになって自分の首をしめることもあります。お金をかければすごく立派なパッケージができます。でも、ボクらの仕事は、ちゃんと売れて、ちゃんと儲けが出ないとデザインする意味がないなと考えています。

Q 自分なりの勉強や情報収集の方法はありますか？

オガサワラ　デザインにも時代の流れがあるので、本やインターネットは見ますが、あまり見過ぎないようにしています。自分で「これ新しいな」と思っても、実は前に見たやつだったというのもあるので。だから極力見ないで、情報に引っ張られないようにして、自分から出すようにしています。

Q デザインにも流行があるんですね。

オガサワラ　もちろん、その時代によってデザインも変化していきます。でもボクは、自分の価値観を大切にしていきたいので流行に左右されないモノ作りをして目指しています。

Q 今後の目標は？

オガサワラ　60 歳になったら、ボクたちのように歳を取ったけど、まだまだ元気な人が働く場所を作りたいと思っています。カフェやギャラリー、雑貨屋があったり、畑があってもいいですね。そんないろいろな人たちが働ける複合的な場所「オガちゃんランド」を作りたいです。毎朝、旗を立てて、「今日はやってます」って分かるようにして。廃校になった学校や空き家など、あるものを活用して、子どもたちも集まってくるようなみんなの居場所を作りたいなと思っています。

Q プライベートの目標は？

オガサワラ　来年、個展をしたいです。2 つのテーマを考えていて、どっちかをやりたいなって思っています。自分の絵が三次元に飛び出すとどうなるんだろうと思っていて、立体物を試作中です。

Q 仕事をする上で大切にしていることは？

オガサワラ　デザインに関しては身の丈にあったデザインをすることを大切にしています。イラストに関しては、3つのことを注意していて、まずは説明的にならない。あとは自分の思いを入れない。最後は人を不快にしない。イラストは見る人のものだと思っているので、その人の主観で自由に見てもらいたいです。

Q 最後に好きなタイプの芸能人を教えてください！

オガサワラ　家族会議で話し合いました（笑）あんまりテレビは見ないのですが、深田恭子がいいなって思って。可愛くて気が強そうな顔がタイプですね。うちの家族もみんな好きです。

◎ 本日はお忙しいところありがとうございました。

印刷物をはじめ、お醤油やビール、お線香のパッケージなど、幅広い実績が分かる展示スペース。

OGA GRAPHICS
盛岡市津志田町 2-6-25　☎ 019-619-1158